

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2
学年	1年生	コース	共通		
使用教科書	ON！ 1（音楽之友社）				
副教材等					

学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。		
評価の観点 の趣旨と定 期考査の配 点基準	知識・技能 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 定期考査の配点基準（目安） 実施しない	思考・判断・表現 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 定期考査の配点基準（目安） 実施しない	主体的に学習に取り組む態度 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学 期	単元	主な学習活動	考查 範囲
1 学 期	発声の基礎 歌唱と楽典 創作① 音楽史と鑑賞①	・ 基本的な発声方法について理解し、歌詞の内容を感じ取りながらイメージをもって歌唱できるようにする。 ・ 日本語の簡単な二部合唱曲を歌い、合唱やハーモニーの喜びを味わう。また楽譜の基礎を理解し、基本的なリズムを練習して楽譜を正しく演奏できるようにする。 ・ 様々なリズムパターンについて学び、リズムによりアンサンブルの創作をする。 ・ 中世およびルネサンス音楽の特徴について理解し、代表曲を鑑賞する。	なし

2 学 期	歌唱と器楽 創作② 音楽史と鑑賞②	・外国語の歌唱について学習し、原語で歌う練習をする。またミュージカルや映画音楽に触れ、感情を込めた歌唱方法を身に付ける。器楽ではキーボードを使い、簡単な伴奏を弾きながら歌う練習をする。 ・歌詞に簡単なメロディをつけ、様々な音階を使ったメロディを創作する。 ・バロックおよび古典派音楽の特徴について理解し、代表曲を鑑賞する。	なし
3 学 期	歌唱と器楽の充実 創作③ 民族と音楽	・三部以上の合唱曲や器楽を伴った歌唱教材に取り組み、より充実した音楽体験を目指す。また箏の基本奏法を学び、簡単な曲を演奏できるようにする。 ・コード進行について学び、メロディや歌詞に対応したハーモニーを創作する。 ・アジア諸国の伝統音楽を鑑賞し、その背景にある文化について理解を深める。	なし

各学期の観点別学習状況の評価の方法

知識・技能＝「声を自分の身体に響かせる発声方法」、「楽譜についての基礎知識」、「様々なリズムの演奏および創作」などを、各単元の発表を主な判断材料として評価します。

思考・判断・表現＝「曲によって異なる歌唱の表現方法」、「実技発表に向けた練習および表現方法」、「背景を理解しつつ、曲のよさを味わう鑑賞方法」などを、各単元の作品や発表さらに授業に取り組む様子を通して評価します。

主体的に学習に取り組む態度＝授業に取り組む様子や、活動記録票、鑑賞プリントなどの記録を通して評価します。

学年末の評価

各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。